



ひろしまチャイルドライン2018年度啓発広報事業

性はグロバーション

～多様な性を認め合う社会に～



講師 **眞野 豊** さん

6月17日(日) 13:00~15:00
(開場30分前)

広島市西区民文化センター大会議室A

『王さまと王さま』という絵本をしていますか？オランダで生まれ、すでに世界では英語、ドイツ語、スペイン語など9言語に翻訳され世界で読まれているという、LGBT 絵本です。日本に翻訳紹介したのは今回の講演会の講師眞野豊さんです。日本では13人に1人がLGBTであると言われています。性別によってその可能性を制限されることなく、自分らしく生きることができるよう、学校・地域・家庭・社会などのあらゆる場において多様性を尊重することが大切です。そのためには、私たち一人ひとりが多様性のあり方について学び理解することが大切です。同性愛を公言しながら公立中学校で6年間勤務した眞野さんご自身のこと、翻訳のエピソードなども交え、性の多様性と人権についてご講演いただきます。



参加費 1,000円
高校生以下 無料

お問合せは・・・

特定非営利活動法人 ひろしまチャイルドライン子どもステーション

住所: 広島市中区八丁堀 7-11 広島 YMCA 気付

電話/FAX 082-233-8655 事務局携帯 090-7998-6113

E-mail: hiroshima-childline@fine.ocn.ne.jp

<http://www.hiroshima-childline.or.jp>

眞野 豊 (マノ ユタカ) さん

2017年3月九州大学大学院博士課程修了博士(学術)。同性愛者であることをオープンにし、公立中学校で6年間勤務。LGBTの人権を題材とした道徳の授業や教職員へ向けた研修を行ってきた。現在は「性の多様性を学校現場でどう教えるか」をテーマに研究・講演活動に取り組んでいる。NPO法人「LGBTの家族と友人をつなぐ会」会員。2018年4月からは日本学術振興会特別研究員PDに採用され、修道大へ戻ることとなった。

チャイルドラインは

子どもの声に耳を傾け、子どもの気持ちをありのままに受け止め、共感することによって、子どもの心を開放し、自立を支えることを目的とします。ひろしまチャイルドラインは、2000年3月から子どもの声を聴き続けています。2016年度は、7779件の子どもからの電話を受けました。友だち関係、いじめ、虐待、性の悩み、あるいは話し相手としてチャイルドラインは多様な子どもの声に寄り添い、受け止めてきました。

チャイルドラインの活動は、北ヨーロッパで1970年代半ばより始まり、アジアやアフリカ地域でも開設され、世界145か国で必須の社会システムとして位置づけられています。

会場交通アクセス



認定 NPO 法人



ひろしまチャイルドライン子どもステーション

住所: 広島市中区八丁堀 7-11 広島 YMCA 気付

電話/FAX 082-233-8655

事務局携帯 090-7998-6113

E-mail: hiroshima-childline@fine.ocn.ne.jp

西区民文化センター

・JR横川駅南口より約200m

・路面電車横川電停より約200m、横川一丁目電停より約240m

・バス横川新町バス停、横川1丁目バス停より約240m

*参加協力チケットのお申し込みは・・・

ひろしまチャイルドライン子どもステーション事務局 (TEL/FAX 082-233-8655) または事務局携帯 (090-7998-6113)

E-mail: hiroshima-childline@fine.ocn.ne.jp へお申込みください。

住所	〒 -
電話番号	
氏名	大人()名・高校生以下(無料)()名

*個人情報は本目的以外には使用いたしません。